



広南避難プログラムとは？

呉市立広南中学校長 坂田 恭一

平成 30 年 7 月 呉市では豪雨により大変な被害を受け、多くの方の大切な命が失われるという悲しいできごとがありました。長浜・小坪地区も、土砂災害による道路の通行止めで陸の孤島となったり、断水で飲み水が確保できなくなったりしました。地域では、自治会の方が中心となって復興に向けて一生懸命活動されました。その様子に感謝の気持ちで見えていた生徒たちは、「私たちも地域に貢献したい」と思いながらも何をしたらよいのか戸惑っていたようです。

そんな中、避難訓練を行ったときに、自治会長さんからの、「災害時において、中学生みんなの力を貸してほしい」の一言が、生徒の心に響きました。この春卒業した先輩の中には、今回の豪雨災害と地域ボランティアの姿を見て、将来自分のふるさとの防災に役立ちたいと考えて進路先を決めた先輩がいたことも、生徒の心を揺り動かしました。

これらの実体験の中から、「災害に強いまちづくりに向けて、中学生としてできることを地域の方と共に行っていきたい。」と生徒たちが立ち上がりました。まずは「自分たちに何ができるか」を考えることから始め、一人一人が防災に関わって、自分でテーマを決めて調べまわってみました。こうして自分たちで調べたり、地域の方から話を聞いたりする中で、たくさんのがわかってきました。

この地域でもっとも怖い災害は、大雨による土砂災害と台風・高潮による海水の浸入であること。そして、これらの災害から人々の命を守るために、地域の方々が砂防ダムや防波堤などをつくる働きかけをする等の取組をされてきたことなど。中でも、昭和 42 年 7 月 9 日に西日本を襲った豪雨では、長浜・津久茂・小坪地区において 31 名の命が奪われ、その犠牲者の中に、長浜中学校の生徒が 4 名もいたことは衝撃的でした・・・。

このことを知った 3 年生 21 名が「広南地区から、二度と災害で亡くなる人を出したくない!」「この劇を地域の皆さんにみてもらうことでいっしょに災害に強いまちづくりを進めるんだ!」「地域のために役立ちたい!」という強い思いをもって「劇団 Smile」を立ち上げ、創ったのが、**創作劇「誓い ～広南避難プログラムを創る～」**です。この劇のタイトルにどうしても入れたかった「**広南避難プログラム**」とは？それは次のとおりです。

近い将来、南海トラフ巨大地震が発生すると言われていています。これを含め津波が発生する危険があるとき、広南では垂直避難を行う必要があります。

「広南避難プログラム」とは・・・。

避難の方法(てんでんこ)
避難所運営(広南小・中学校3階)

の2点を中心に**災害に対する備えと対応の仕方をまとめたもの**です。

今回は Version I として、3 年生が「食料班」「救護・居住班」「情報・通信班」に分かれて考え、この劇の中で説明した災害に対する備えと対応の仕方を「広南避難プログラム」としてまとめました。この「広南避難プログラム」に込めた地域安全に対する生徒たちの思いを学校では来年度以降も継続的に生徒の中で引き継いでいくとともに、地域の皆様と災害に対する備え、災害時における対応の仕方などを一緒に考え、災害に強いまちづくりを継続的に進めていきたいと思っています。

最後に、この「広南避難プログラム」作成に関わってご支援・ご協力いただきました多くの方々に厚くお礼申し上げます。

